

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和6年7月10日(2024.7.10)

【公開番号】特開2022-151476(P2022-151476A)
 【公開日】令和4年10月7日(2022.10.7)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-185
 【出願番号】特願2021-103834(P2021-103834)
 【国際特許分類】
 A 6 1 L 2/10(2006.01)
 【F I】
 A 6 1 L 2/10

10

【手続補正書】
 【提出日】令和6年7月2日(2024.7.2)

【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

紫外光を照射して被照射物を殺菌する殺菌用光照射装置であって、
 箱形の筐体と、
 前記筐体内に配置され、前記紫外光を出射する光源と、
 前記筐体内に配置され、前記被照射物が載置される載置板と、
 前記光源、前記載置板及び前記被照射物を囲むように前記筐体内に配置され、前記紫外光を反射する反射ミラーと、

30

前記載置板は、前記被照射物が載置される第1面と、前記第1面と対向する第2面と、を有し、前記紫外光が透過可能に構成されており、

前記光源が、前記第1面の面する空間又は前記第2面の面する空間の少なくともいずれか一方に配置されている
 ことを特徴とする殺菌用光照射装置。

【請求項2】

前記光源が、前記載置板の少なくとも一辺の縁部に沿って配置されていることを特徴とする請求項1に記載の殺菌用光照射装置。

【請求項3】

前記光源が、前記載置板の対向する二辺の縁部に沿って配置されていることを特徴とする請求項2に記載の殺菌用光照射装置。

40

【請求項4】

前記反射ミラーが、前記筐体の内面に沿って配置されていることを特徴とする請求項1から請求項3のいずれか一項に記載の殺菌用光照射装置。

【請求項5】

前記載置板が、透明な板状のガラスであることを特徴とする請求項1から請求項4のいずれか一項に記載の殺菌用光照射装置。

【請求項6】

前記載置板が、前記第2面の面する空間から入射する前記紫外光を拡散させる光拡散面を備える、板状のガラスであることを特徴とする請求項1から請求項4のいずれか一項に記載の殺菌用光照射装置。

50

【請求項 7】

前記光源が、波長 200 ~ 300 nm の紫外光を発する LED 素子又は放電ランプを有することを特徴とする請求項 1 から請求項 6 のいずれか一項に記載の殺菌用光照射装置。

【請求項 8】

前記被照射物が、板状の形状を呈することを特徴とする請求項 1 から請求項 7 のいずれか一項に記載の殺菌用光照射装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0006

【補正方法】 変更

10

【補正の内容】

【0006】

本発明は、かかる事情に鑑みてなされたものであり、物品（被照射物）の形状を問わず、短時間で隅々まで殺菌可能な殺菌用光照射装置を提供することを目的とする。

20

30

40

50